

# 一般質問通告書

受領日時 令和2年 9月1日 午前10時20分

8番 氏名 畑澤洋子

質問項目	質問の要旨
1 コロナ禍における「災害時の避難と避難所の運営の在り方」について	<p>① 8月8日。テレビ報道によれば「五城目町は豪雨による災害が予測されることから787世帯の1823人に避難勧告」とあったが避難勧告者名簿が存在するのか。作成担当は。</p> <p>② 避難対象者に避難を知らせる連絡網と独居老人・障害者避難を支援する人が明記されているのか。</p> <p>③ 避難中の住民に咳、発熱がある場合、災害の状況によって移動ができない時、居場所や動線を分ける（個室・専用トイレ）などの課題にどう対応するか。</p> <p>④ 避難所での3密対策を8月8日に体験したと思うが、一次補正で購入する物品以外に必要なものなど、改善点や新たな問題の発見はなかったか。</p> <p>⑤ 「町ホームページもしもの時に」にアップされているハザードマップはスマホ拡大でぼやける。Web版で対応を。</p> <p>⑥ 災害に備え、事前に避難計画を策定する「マイ避難ノート」を全世帯に配布する県がある。合わせて電子版も県ホームページから入手できるようにする。当町に参考になるのではないか。</p>
2 町子育て世代包括支援センターの充実を	<p>① コロナ禍での産前産後の妊産婦は、感染を恐れて外出を極力控えている。課題が大きくなる前に、きめ細かな支援をするには、表情や目線から緊急の度合い・精神的影響を見極めることが出来る「オンライン相談」が効果的だ。数人でのオンラインサロンも視野に入れ「母子モ」オンラインの活用を。</p> <p>② 消防署と連携し万一の時に迅速に支援できる「ママサポート119」（登録した妊婦さんの緊急時の救急搬送に活用）を採用してはどうか。</p>